

1, 道具の用意

失敗が起きないようにまず道具を確かめます。

- 紙コップ (用意してください)
- 爪楊枝 (用意してください)
- きれいな紙 (用意してください)
- 時計
- 木づちまたは金づち
- 遺伝子組換えナタネ検査セット

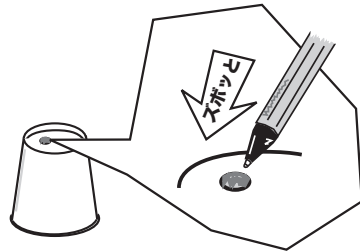


実験は清潔な手でおこないましょう



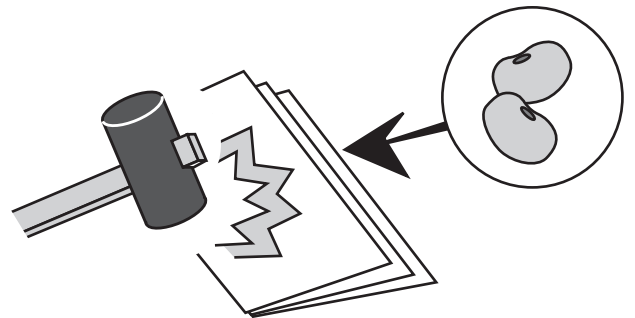
2, チューブスタンドを作る

紙コップの底にボールペンなどで穴を開け、チューブをたてます



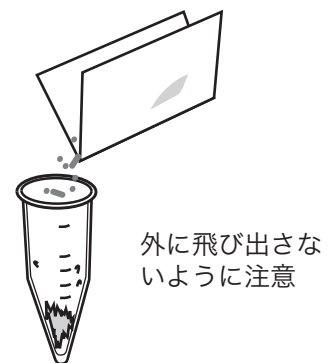
3, サンプルを紙にくるんでつぶす

調べたい大豆を紙にくるんだら、金づちなどで叩いてつぶします。強く叩きすぎると紙が破れて中身が飛び出しますので注意します。



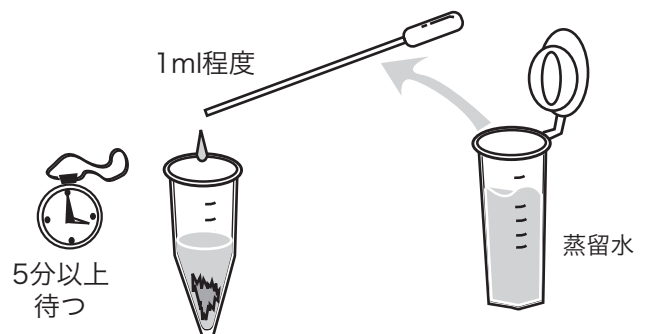
4, つぶれたサンプルをいれる

つぶれて粉々になったサンプルを、こぼさないよう慎重にチューブへ注ぎ込みます。あまりいれすぎないようにします。いれすぎると蒸留水が入らなくなってしまいます。



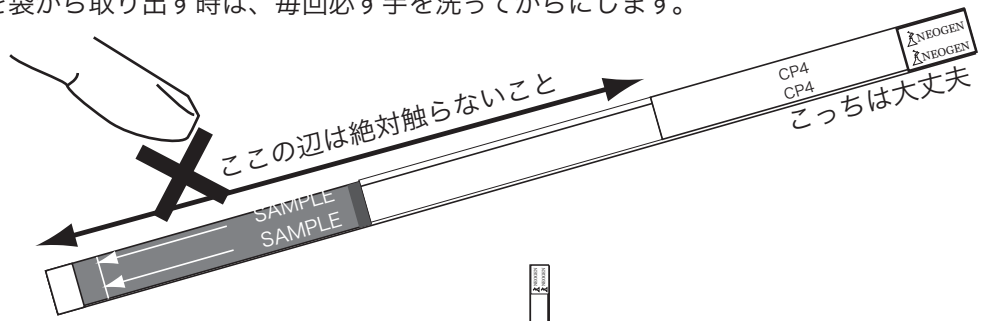
5, 蒸留水を入れる

スポイトでチューブに蒸留水を入れます。1.0mlぐらいまで入れてください。蒸留水を入れたら、爪楊枝で良くかき混ぜます。必ず**5分以上室温で放置**し、成分が溶け出してくるのを待ちます。



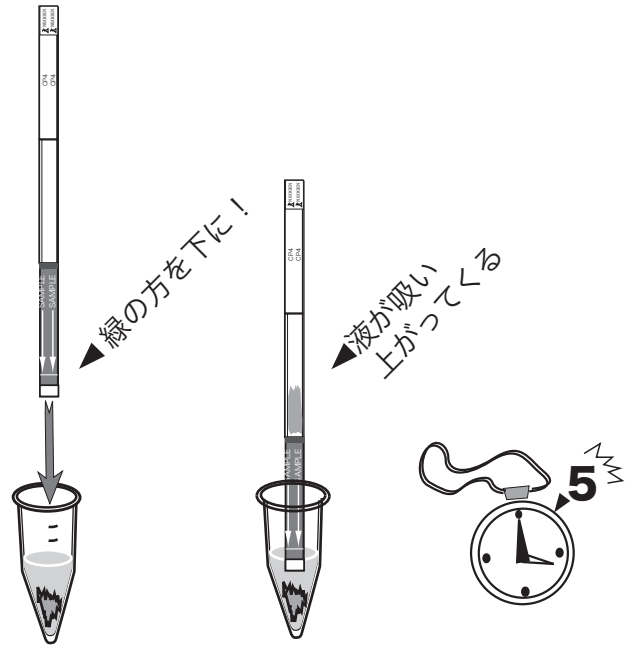
6, 試験紙を取り出す

試験紙を袋から取り出す時は、毎回必ず手を洗ってからにします。



7, 試験紙を入れる

試験紙をチューブに差し込みます。
差し込む向きに注意します。
時計を見ながらちょうど5分間待ちます



8, 判定をする

試験紙にでききた赤い線の数数えます。
線が2本あると遺伝子組換え大豆となります。
線が1本だけだと普通の大豆となります。

